

令和4年度 群馬県青少年赤十字東部地区連絡協議会

令和4年7月6日 10:00～ 於 太田合同庁舎

実践発表

JRCの取組について



太田市立沢野中央小学校

2022.7.6

太田市立沢野中央小学校

開校 2003年



児童数 389名
17クラス（含む特支） + 国際教室



1、JRC委員会との連携

- (1) ベルマーク回収・集計
- (2) 青少年赤十字登録式
- (3) 赤い羽根共同募金

他・書き損じはがき寄付
・トレーニングセンター
(R2,R3年度は中止)

2、JRCに関わるその他の取組

- ▶ (4) 防災教育（本日のメイン）
- ▶ (5) 自然災害に伴う募金活動と送金

(2) 青少年赤十字登録式

- ▶ 4年から6年までが登録。式の準備や進行はJRC委員が中心。
- ▶ H31年度までは体育館で実施。R2年度は未実施、R3年度は校庭で実施。
- ▶ 放送委員会と連携し、事前に赤十字の歌「空は世界へ」を給食時の放送で流し、児童の関心を高める。
- ▶ 事後、4年生にワッペンを配付。

1、JRC委員会との連携

(2) 青少年赤十字登録式



(3) 赤い羽根共同募金

- ▶ 全学年対象
- ▶ 赤い羽根と保護者用の案内を用意し、配付。
- ▶ R3年度は11月16日と17日の2日間に分けて実施。
- ▶ 事前に、JRC委員が赤い羽根募金の主旨について各クラスで説明。また、給食時に放送でPR（二度実施）。
- ▶ 募金の集計は、校務センターにてJRC担当職員とJRC委員とで行う。
- ▶ 集計結果は、JRC委員が校内放送で伝える。また、保護者に通知文を配付。

1、JRC委員会との連携

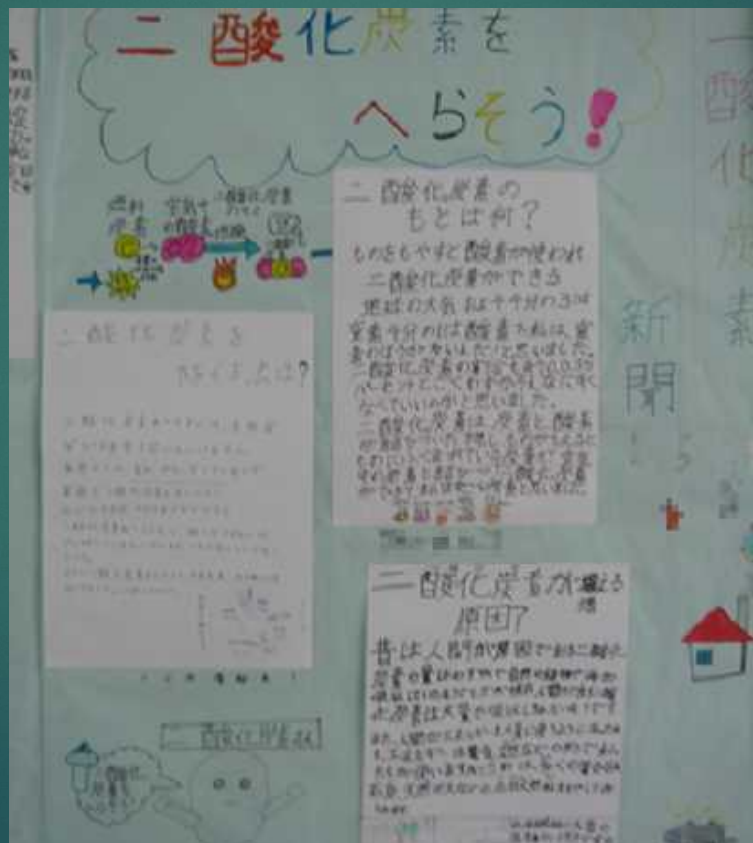
(3) 赤い羽根共同募金



.....他には、書き損じはがきの寄付やトレーニングセンターへの参加があります。

ISO活動

「気づき 考え 実行する」の具現化



(4) 防災教育

防災教育とJRC ?

○職員で研修を行う

(H30「防災教育を考える」東日本大震災・石巻防災教育研修より)

(R2「防災教育を考える」水害を中心に)

(R3「タブレット活用研修」水害を中心に)

※H30年度は太田市が主催した「東日本大震災・石巻防災教育研修」に参加し学んだことをもとに、資料を作成し、研修した。

※R2,R3年度は、社会科副読本改訂の際、新設された単元「自然災害からくらしを守る」を担当したことをもとに、研修した。

2、JRCに関わるその他の取組

(4) 防災教育

○児童への指導

- ▶ 全校児童への一斉指導（H30年度2学期始業式）。
- ▶ 防災の日に防災マップなどを活用した防災教育。
- ▶ 教科指導（社会、理科、学活等）
- ▶ 青少年赤十字防災教育プログラムの活用
- ▶ 避難訓練



青少年赤十字防災教育プログラム

まもるいのち
ひろめるぼうさい

KIDS DESIGN AWARD 2015

青少年赤十字
防災教育プログラム

授業で使える
防災教材

小学生用(1-3年) / 小学生用(4-6年) / 中学生用・高校生用

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

【 防災教育とJRC 】

太田市立沢野中央小学校 職員研修より

- ▶ここから紹介するのは、令和2年度の夏季休業中におこなった、職員研修（夏フェス）
「防災教育を考える」において
- ▶講師 江塚和典教諭 作成の資料から抜粋したものです

防災教育を考える (水害を中心に)

太田市立沢野中央小学校

～夏の資質向上研修フェスティバル～

2020年8月19日 (水)

江塚 和典

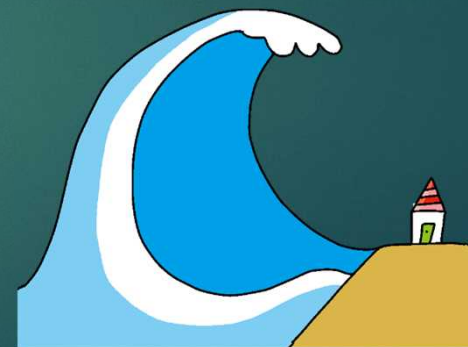
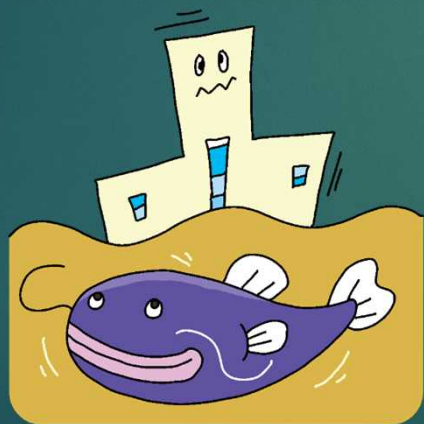
本日の内容

- ▶ 様々な自然災害本日は水害にしぼって
- ▶ 沢野中央小近辺の状況
- ▶ 防災教育のこれから

様々な自然災害

自然災害

▶ 自然災害の種類 (省略)



水害

様々な自然災害



台風19号による水害

- ▶ 令和元年10月12日～13日
- ▶ 大型で非常に強い勢力
- ▶ 群馬県は特に西毛、吾妻地域を中心に、広い範囲で記録的な大雨になった。
- ▶ 河川の氾濫等による水害で、大きな被害。

沢中小近辺の状況

台風19号による水害



沢中小学区
でも大きな
被害

避難場所
に避難し
た児童も

太田市のハザードマップより

沢中小近辺

新

牛沢住宅・
団地付近
0.5~10.0m
浸水



浸水深ランクの目安
水防法「改正後(平成29年6月)」の浸水深ランクの目安をお知らせします。ただし、建物や土地の状況により浸水による被害は異なります。

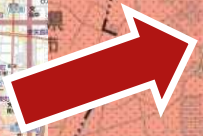
家屋イメージ	浸水深と目安
20m	5〜7階が浸水する程度
10m	3階の全てが浸水する程度
5m	2階の全てが浸水する程度
3m	1階の全てが浸水する程度
0.5m	大人の膝まで浸水する程度

※地図上で青色のない区域でも河川や水路の近くなどにお住いの方は、日頃より浸水があった場合を想定し、自ら対応や備えをしておきましょう。

蛇川

石田川

利根川



近隣の河川情報

▶ 利根川上流河川事務所 河川ライブ映像

国土交通省 関東地方整備局
利根川上流 河川事務所 河川ライブ映像 [| 地図選択ページへ戻る |](#)

事務所TOP > 防災情報 > 地図選択・ライブカメラ一覧 > ライブ映像表示画面

石田川合流点 ライブ映像

2019/12/25 17:00
 利根川水系 利根川 左岸 165.5K
 埼玉県熊谷市妻沼小島 石田川合流点

■ 平常時の画像

利根川水系 利根川 左岸 165.5K
 埼玉県熊谷市妻沼小島 石田川合流点

■ カメラ位置図

Google
 このページでは Google マップが正しく読み込まれませんでした。
 このウェブサイトの所有者ですか?

河川名	河口又は合流点からの距離	設置箇所
利根川	左岸165.5km	埼玉県熊谷市妻沼小島地先

カメラ局一覧

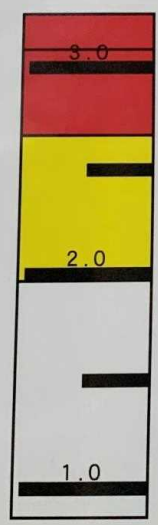
田中調節池下流	三ツ堀 水位監視	むしろ打 水位監視	芽吹橋	下総利根大橋上流
境大橋下流	江戸川流頭部	栗橋水衝部	栗橋	栗橋水位



近隣の河川情報

石田川 下田島水位観測所 量水標の読み方

太田市役所が発表する避難勧告などの情報に注意してね。



- 3.12 はん濫危険水位〔3.12 m〕**
避難を開始する目安となる水位
- 2.7 避難判断水位〔2.7 m〕**
避難の準備をする目安となる水位
- 2.0 はん濫注意水位〔2.0 m〕**
水防団が活動を始める目安となる水位
- 1.1 水防団待機水位〔1.1 m〕**
水防団が活動の準備を始める目安となる水位

太田土木事務所 TEL : 0276-32-2345

群馬県の水・雨量情報 川の急な増水に注意!!

- レーダー雨量計で雨が降っている地域を知りたい時は <http://i.river.go.jp/>
- 群馬県内の詳しい雨量や河川の水位を知りたい時は <http://www.uryou-gunma.jp/k/>

提供 国土交通省・群馬県

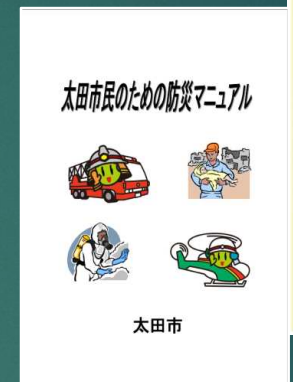
沢野中央小学校近辺の避難場所



避難場所を知らせる看板



沢野中央小



南中学校



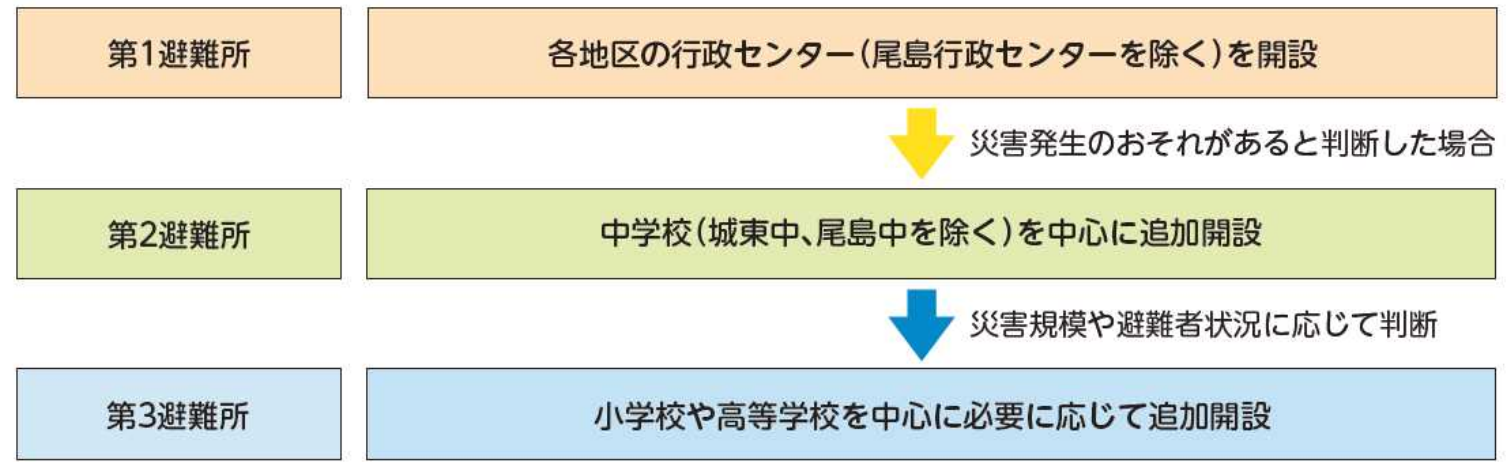
沢野行政センター



市立太田高校

水害時に開設される避難所（太田市）

水害時に開設する避難所を指定し、段階的に開設します



災害規模に応じて、3段階で避難所を開設します。避難所一覧は2、3ページ（見開き）のとおりです。



開設している避難所であれば、お住まいの地区に関係なく、どこでも避難することができます。地区にこだわらず、行きやすい避難所に避難してください。

避難場所の様子（備蓄品など）



沢野中央小

体育館 2F
東倉庫内



非常用保存用
飲料水



避難場所の様子（備蓄品など）



沢野行政センター



非常用食料や飲料水、携帯用ブランケットなど

避難場所の様子 (備蓄品など)



沢野行政センター



災害用移動炊飯器

避難場所の様子（備蓄品など）



沢野行政センター



消毒用の石灰と土のう



避難する場所

- ▶ 指定避難場所への避難
- ▶ 自宅の2階以上に避難する垂直避難
- ▶ 親戚や知人宅への避難
- ▶ 安全な場所での車中泊



新型コロナ
ウィルス対
策

避難のポイント

水害時に開設する避難所について

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は避難してください。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう


知っておくべき5つのポイント

- ① 安全な場所にいる人まで避難所に避難する必要はありません。
在宅避難(2階への垂直避難など)を検討しましょう。
- ② 市が指定する避難所以外への避難も検討しましょう。
安全な地域に住む親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ③ 避難所へ避難するときは、マスク・消毒液・体温計などをできるだけ持参しましょう。
- ④ 平時から太田市防災マップや市ホームページなどで避難所を確認しておきましょう。
- ⑤ 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。早めに避難行動をとりましょう。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

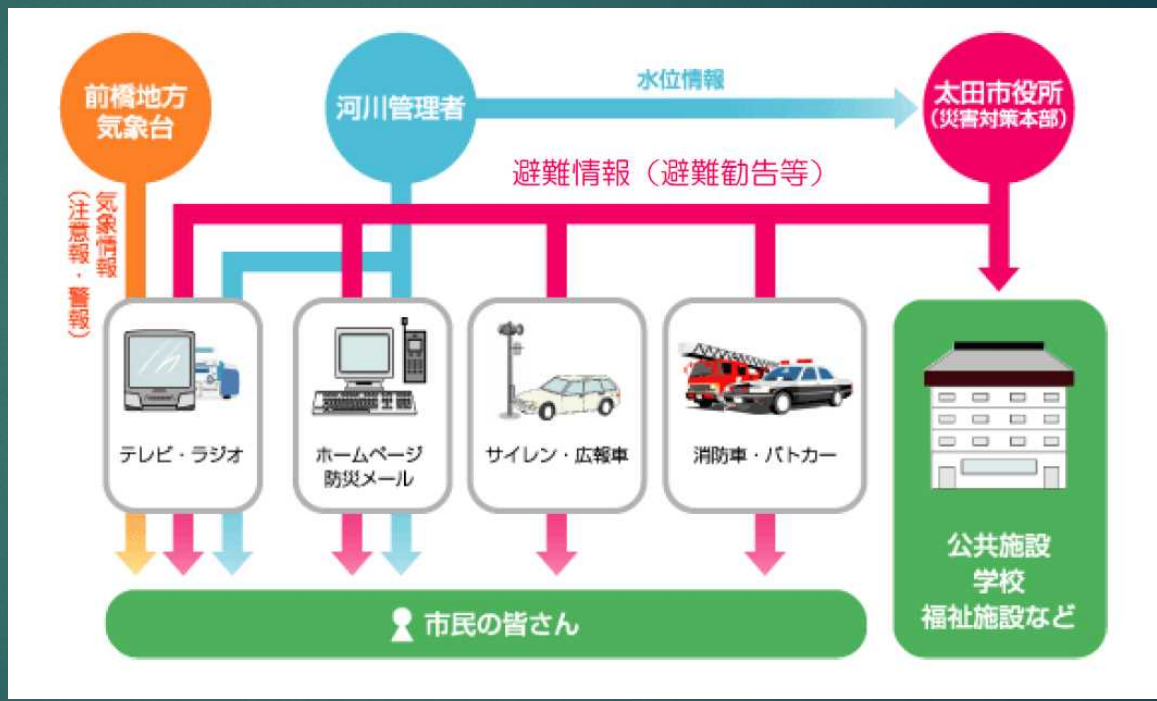


避難情報・災害時の対応（公助）

太田市民のための防災マニュアル



太田市



避難情報・災害時の対応（公助）

- ▶ 市役所・消防本部・警察
- ▶ 消防団＝水防団（太田市）
- ▶ おおた安心・安全メール



沢野中央小学校近辺での懸念

- ▶ 太田市防災マップ
(各家庭に配布。学校は100冊保管。)



- ▶ 心配される災害
 - ・ 大雨による河川の氾濫 → 水害
 - ・ 積乱雲の発達 → 大雨・竜巻・雷
 - ・ 地震
 - ・ 猛暑

防災教育の充実に向けて

- ▶ ①教科指導
- ▶ ②防災教育プログラムの活用、防災教育ポータル
ルの活用
- ▶ ③避難訓練 (省略)
- ▶ ④避難場所として (省略)
- ▶ ⑤防災意識

①教科指導

▶ 4年生社会

「自然災害（水害）からくらしを守る」

▶ 5年生社会「自然災害を防ぐ」

▶ 5年生理科「台風と天気の変化」

「流れる水のはたらき」

▶ 6年生社会「震災復興の願いを実現する政治」

▶ 6年生国語「地域の防災について話し合おう」

▶ 学級活動

etc...

①教科指導：4年社会科

- ▶ マイタイムライン
- ▶ 避難所シミュレーション

ひなん所シミュレーション

- いろいろな人の立場に立ち、自分なりの答えを出します。

(1) <ひなん所のしよく員として>

- 300人のひなん者に対して、200人分のおべんとうがとどいた。このおべんとうをすぐに配るか。
- はい: すぐに配る
- いいえ: すぐに配らない

←国土交通省のホームページに公開されています

マイタイムラインノートの教材提供

○**タイムラインとは？**
 タイムラインは、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、災害（氾濫）発生までの約3日間の事態を想定し、時間軸に沿って予め防災行動を整理しておくものです。

○**マイタイムラインとは？**
 マイタイムラインは、住民一人一人が、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を時間軸に沿って予め検討するものです。

マイタイムラインで考える
河川の氾濫発生までの事前行動

◆マイタイムラインの紹介、検討ツールについては、国土交通省下館河川事務所のホームページ「★みんなでタイムラインプロジェクト★」に、詳しい内容が公開されています。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html>

マイ・タイムライン ノート

表紙

最大浸水深の分布

☒ マイタイムラインノートの記載情報

2、JRCに関わるその他の取組

マイ・タイムライン

○児童への指導

児童が作成したマイ・タイムライン

ふり返り

自分の家の所は、ハザードマップで何もないけど、もし水害にあたらばたから、たいさくしてました。

児童の振り返りより、「気づき、考え、実践する」ことの大切さを実感した様子がたくさん見受けられた。

ふり返り

じんが起きた時のことや台風が起きた時のことを、しっかり考えられました。家族と話合いたいと思いました。

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

みんなが考えた「台風や前線が発生」してから「川の水位が危険」するまでのそなえをいつから行動するか書いてみよう！

太田市(市)町(村) 戸沢 地区 家マイ・タイムライン 作成年月日 2021年 1月

そなえまでの時間	行政から発せられる情報	主なそなえ	そなえの(例)
5-3日前	○台風予報 ○台風に関する土木用、気象庁発表情報(速報)(警戒レベル1)	「台風や前線が発生」してから「川の水位が危険」するまで、 台風や前線が発生 警戒レベル1 自分がいるところであついても、上流で雨が降れば川の水位は増えてくるよ。 台風が近づいて、雨や風が強くなるよ。 警戒レベル2 雨が強くになると、堤防がはたが壊れるよ。	○今後の台風や前線の動きを調べ始める ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○避難する時に持って行く物を準備する ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ・インターネット・メール等や川のの様子に注意 ○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2) ○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断
1日前	○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断
半日前	○大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2) ○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断
5時間前	○大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2) ○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断
3時間前	○大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2) ○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断
0時間	○大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2) ○台風に関する今後の見通し	水防団待機水位到達 警戒水位到達 洪水予報(注意警戒情報)発表	○家族と連絡を取りあう ○住んでいる所と上流の雨の様子を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○市内の高台への避難の開始を判断

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。避難勧告等のタイミングは状況によって異なります。市町村の発信情報に注意してください。

防災教育のこれから

②防災教育プログラム

青少年赤十字防災教育プログラム

KIDS DESIGN AWARD 2015

まもるいのち ひろめるぼうさい

青少年赤十字 防災教育プログラム

授業で使える 防災教材

小学生用(1-3年) / 小学生用(4-6年) / 中学生用・高校生用

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

小学生用(1-3年) 45分

風水害

このプログラムの使い方

風水害のプログラム(p13~18)は、すべてつながって1冊の授業として行うか、もしくは「台風・豪雨」「嵐」「局地的大雨」「竜巻」のいずれかを組み合わせた授業として行うことができます。p16のワークシート4は「台風・豪雨」の授業の際に使用してください。p17のワークシート5は「嵐」「竜巻」「局地的大雨」「竜巻」のどの授業でも使用していただけます。

1. プログラムの目的

毎年、暑から秋にかけて、台風が日本を襲い過ぎることで、多くの人の命が奪われ、強い風が吹き、各地に大きな被害(洪水・高潮・土砂災害)をもたらす。ここでは、台風はあらかじめ天気予報によって危険を予測できるので、こまめに気象をチェックすることが重要であることを学習する。

2. ねらい

台風が近づいてくるとどんな危険に注意が必要か考え、台風発生時、自分の身の安全を守る方法を学習する。

3. 展開 (15分)

① 導入 (5分)

② 本時 (10分)

③ 閉場 (5分)

45分

風水害

このプログラムの使い方

風水害のプログラム(p21~26)は、すべてつながって1冊の授業として行うか、もしくは「台風・豪雨」「嵐」「局地的大雨」「竜巻」のいずれかを組み合わせた授業として行うことができます。p24のワークシート4は、「台風・豪雨」の授業の際に使用してください。p25のワークシート5は「嵐」「局地的大雨」「竜巻」のどの授業でも使用していただけます。

1. プログラムの目的

毎年、暑から秋にかけて、台風が日本を襲い過ぎることで、多くの人の命が奪われ、強い風が吹き、各地に大きな被害(洪水・高潮・土砂災害)をもたらす。ここでは、台風はあらかじめ天気予報によって危険を予測できるので、こまめに気象をチェックすることが重要であることを学習する。

2. ねらい

台風が近づいてくるとどんな危険に注意が必要か考え、台風発生時、自分の身の安全を守る方法を学習する。

3. 展開 (15分)

① 導入 (5分)

② 本時 (10分)

③ 閉場 (5分)

ワークシート4「台風・豪雨を初めらう・台風・豪雨から身を守らう」

天気予報で、台風が近づいていることを知ったら、どうしたらよい?

テレビの天気予報で台風が近づいていることを伝えています。どのような危険があるのでしょうか?

① 台風の時に、予想される危険は何ですか? 上のイラストを参考に、書き出しましょう。

② 避難する時に気をつけることはどんなことですか?

ワークシート5「嵐・竜巻を初めらう」

「大気の状態が不安定」な時の危険は何がある?

テレビの天気予報で、「大気の状態が不安定」と言っていますが、前から友だちとハイキングに行く約束をしており、川の中州でバーベキューをして、山頂からはまわりの山々を見渡せる山に出かけてしまいました。どんな危険があるのでしょうか?

ハイキング先ではどのような危険があるかまた、どうしたらよいか、あげてみましょう。

ワークシート

映像

指導案

視聴年齢

小学生用(1-3年)

45分



A-Zおひらき・こころをしよう、たいふう・ごうぶからあそぼう
～A-11おひらきからあそぼう

風水害

台風 豪雨
津波 地震

このプログラムの使い方

風水害のプログラム(p13～16)は、すべてつなげて1回分の授業として行うか、もしくは「台風・豪雨」「積乱雲」「雷」「局地的大雨」「竜巻」のいずれかを組み合わせた授業として行うことができます。p16のワークシート4は「台風・豪雨」の授業の際に使用してください。p17のワークシート5は「積乱雲」「雷」「局地的大雨」「竜巻」のどの授業で使用してもかまいません。

台風・豪雨 (15分)



A-Zおひらき・こころをしよう、たいふう・ごうぶからあそぼう

1. プログラムの目的

毎年、夏から秋にかけて、台風が日本を通り過ぎることで、たくさんの雨が降り、強い風が吹き、各地に大きな被害(洪水・高潮・土砂災害)をもたらす。ここでは、台風はあらかじめ天気予報によって進路を予測できるので、こまめに情報をチェックすることが重要であることを学習する。

2. ねらい

台風が近づくとどんな状態になるか考えさせて、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。

3. 展開 (15分)

時間	学習内容	学習内容・留意点・指導方法
10分	①台風・豪雨について学ぶ。 台風がどのようなしくみで起こるのかを知り、台風からどのようにして身を守るのかについて学習する。	●DVDのふりかえりを見る。 【おひらきのおひらき】 → 授業前には事前からおひらき。 → 授業中では、進路の多くは気象情報局、本人の気配りから決まるとして身を守る方法を学習する。 ●「おひらきからあそぼう」(1)の授業時にこのワークシート4を使用する。
10分	②「ワークシート4」を読み、台風の進路を予測していることを確認する。	●「ワークシート4」を読み、台風の進路を予測していることを確認する。
10分	③台風の情報を知り、身の守り方を理解する。 台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。	●実際の情報に応じて、台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。
10分	④台風が近づいている時には、天気予報をチェックし、適切に対応することを確認する。	●実際の情報に応じて、台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。

視聴年齢

小学生用(4-6年)

45分



A-Zおひらき・こころをしよう、たいふう・ごうぶからあそぼう
～A-11おひらきからあそぼう

風水害

台風 豪雨
津波 地震

このプログラムの使い方

風水害のプログラム(p31～36)は、すべてつなげて1回分の授業として行うか、もしくは「台風・豪雨」「積乱雲」「雷」「局地的大雨」「竜巻」のいずれかを組み合わせた授業として行うことができます。p34のワークシート4は、「台風・豪雨」の授業の際に使用してください。p35のワークシート5は「積乱雲」「雷」「局地的大雨」「竜巻」のどの授業で使用してもかまいません。

台風・豪雨 (15分)



A-Zおひらき・こころをしよう、たいふう・ごうぶからあそぼう

1. プログラムの目的

毎年、夏から秋にかけて、台風が日本を通り過ぎることで、たくさんの雨が降り、強い風が吹き、各地に大きな被害をもたらす。ここでは、台風がもたらす様々な災害(洪水・高潮・土砂災害)について学び、台風が日本に近づいてくることを天気予報によって知って知り、最新の情報を確認することが重要であることを学習する。

2. ねらい

①台風のしくみを知ることで、台風がもたらす様々な災害を学習する。台風から身を守る方法を学び、台風接近時、自分で危険を回避する行動ができるようになる。
②近づいてくる台風の特徴(大きさ、位置など)はあらかじめ気象情報で確認できるので、最新の気象情報を確認して災害に備えるようにする。

3. 展開 (15分)

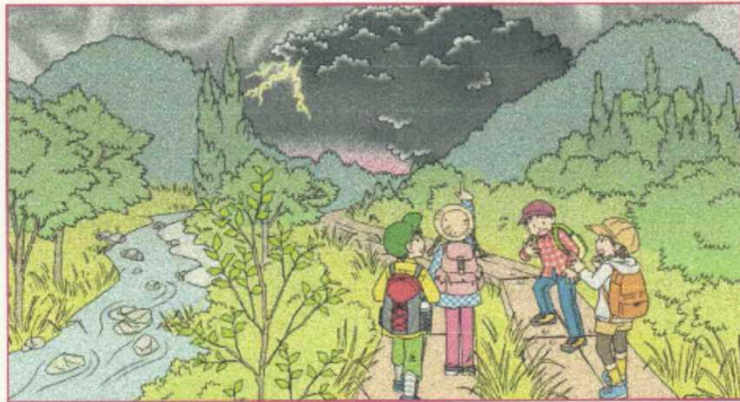
時間	学習内容	学習内容・留意点・指導方法
10分	①台風・豪雨について学ぶ。 台風がどのようなしくみで起こるのかを知り、台風からどのようにして身を守るのかについて学習する。	●DVDのふりかえりを見る。 【おひらきのおひらき】 → 授業前には事前からおひらき。 → 授業中では、進路の多くは気象情報局、本人の気配りから決まるとして身を守る方法を学習する。 ●「おひらきからあそぼう」(1)の授業時にこのワークシート4を使用する。
10分	②「ワークシート4」を読み、台風の進路を予測していることを確認する。	●「ワークシート4」を読み、台風の進路を予測していることを確認する。
10分	③台風のしくみと特徴を知り、身の守り方を理解する。 台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。	●実際の情報に応じて、台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。
10分	④台風が近づいている時には、天気予報をチェックし、適切に対応することを確認する。	●実際の情報に応じて、台風が近づくとどんな状態になるのかを考え、台風情報を活用することで自分の身を守る方法を学ぶ。

ワークシート5「積乱雲を知ろう」

ねん くみ ばん なまえ

**「大気の状態が不安定」なとき、
あぶないことは？**

テレビの天気よほうで、「大気の状態が不安定」といっていましたが、
まえから友だちとやくそくしていたハイキングに出かけてしまいま
した。どんなきけんがあるでしょうか？



ハイキング先で身を守るために、正しいと思う方に○をつけましょう。

●雷がなっているとき



- () 木の下にげる
- () 自動傘やたてものの中に入る

●大雨がふってきたとき



- () たてものの外にげる
- () 川や用水路からはなれる

●電柱が近づいてきたとき



- () たてものの中のまどぎわにげる
- () たてものの中のつぐえの下にげる

ワークシート回答例

ワークシート4「台風・豪雨を知ろう／台風・豪雨から身を守ろう」

正しいと思う方に○をつけましょう。

●川のそばはどうなる？



- () 木のりょうがはなれて、あふれる
- () 木のりょうがへる

●山や谷けではなにができる？



- () 山をかさる
- () くだれる

●畑はどうなる？



- () 逃げたかたや逃げたかたくなる
- () しづかになる

指導のポイント

DVDで学んだ知識の復習のほか、児童たちが体験した過去の台風の事例などから、台風の危険を学ばせましょう。回答させながら、台風の特徴（強い風が吹く、短い間に大雨の雨が降る、など）を板書して、想像力を育うのもよいでしょう。

台風への対策の基本は「外出しないこと」ですが、家の中にはない場合には、避難が必要です。学校や町が海や川の近くにある、山間にあるなど、地域の実情に合わせて、避難場所の基準や避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。

ワークシート5「積乱雲を知ろう」

指導のポイント

「大気の状態が不安定」という言葉を知ったら、積乱雲が発達する可能性があることを、まずは印象づけましょう。積乱雲が発達すると「雷」「局地的大雨」「竜巻」などのおそれがあります。これらへの最も有効な対処法は「外出しないこと」ですが、外出中に遭遇してしまった場合も考慮して、対処法を考えおきましょう。

また、積乱雲は多くの場合短時間に急激に発達するため、例えば初めは晴れていても、昼や夕方にも局地的大雨に遭遇する可能性があることを補足しておきましょう。



ハイキング先で身を守るために、正しいと思う方に○をつけましょう。

●雷がなっているとき



- () 木の下にげる
- () 自動傘やたてものの中に入る

●大雨がふってきたとき



- () たてものの外にげる
- () 川や用水路からはなれる

●電柱が近づいてきたとき



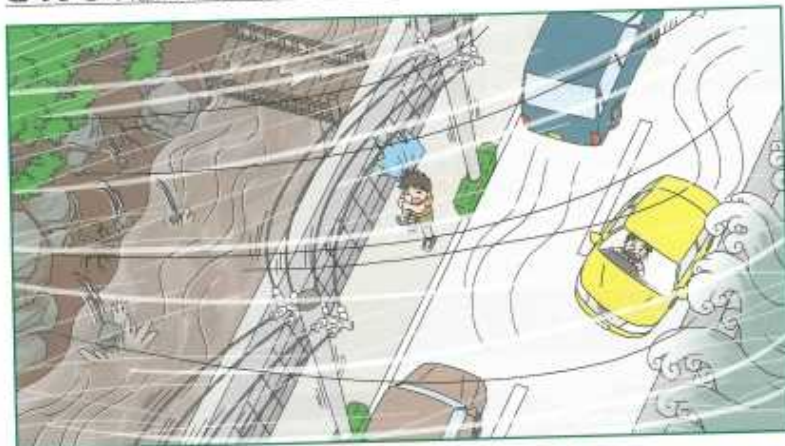
- () たてものの中のまどぎわにげる
- () たてものの中のつぐえの下にげる

ワークシート4 「台風・豪雨を知ろう／台風・豪雨から身を守ろう」

年 組 番 名前

天気予報で、台風が近づいていることを知ったら、どうしたらよい？

テレビの天気予報で台風が近づいていることを伝えています。どのような危険があるでしょうか。



① 台風の時に、予測される危険は何ですか？ 上のイラストを参考に、書き出しましょう。

Blank space for writing answers to question 1.

② 避難する時に気をつけることはどんなことですか？

Blank space for writing answers to question 2.

ワークシート5 「積乱雲を知ろう」

年 組 番 名前

「大気の状態が不安定」な時の危険は何がある？

テレビの天気予報で、「大気の状態が不安定」と言っていますが、前から友だちとハイキングに行く約束をしており、川の中州でパーベキューをして、山頂からはまわりの山々が見渡せる山に出かけてしまいました。どんな危険があるでしょうか？



ハイキング先ではどのような危険があるかまた、どうしたらよいか、あげてみましょう。

Blank space for writing answers to the question about hiking dangers.

③避難訓練 ④避難場所として

▶ 省略



⑤防災意識の重要性

▶ 災害への平時の備え

(防災マップ、非常時持出品、マイタイムライン、災害用伝言ダイヤル、家族会議)

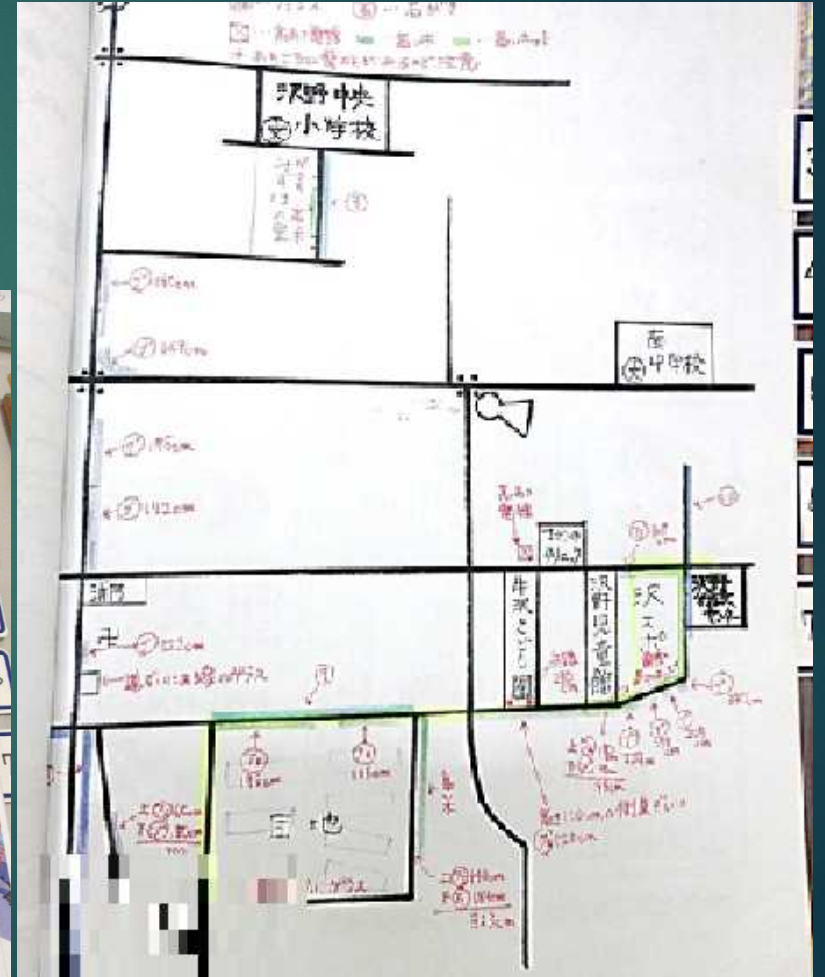
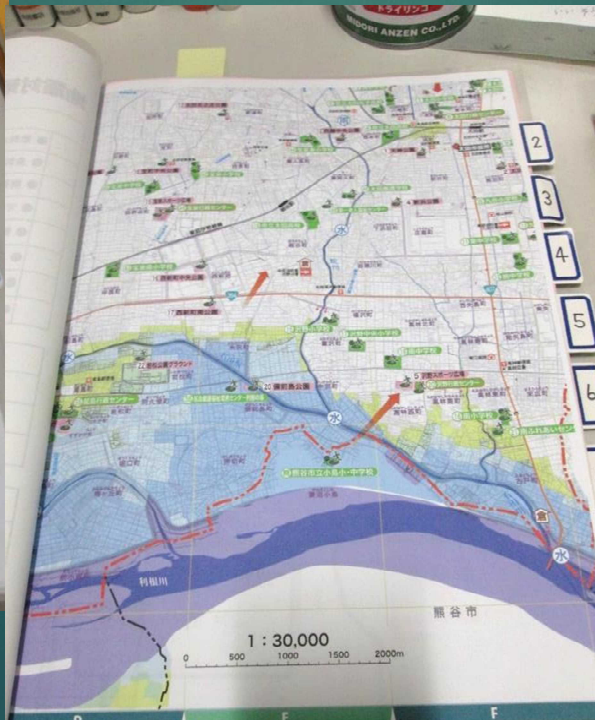
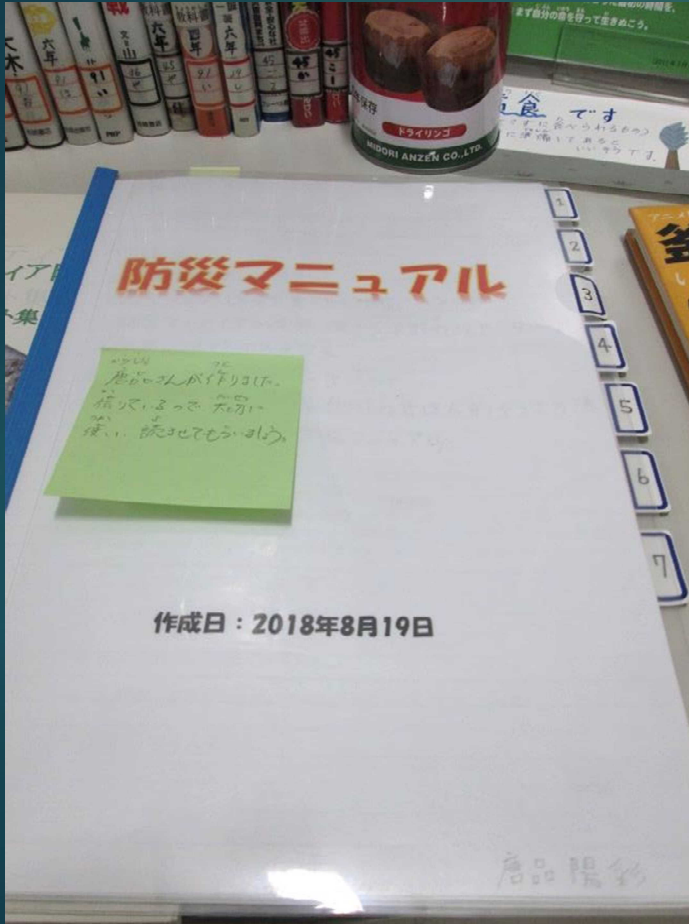


▶ 水防訓練・防災フェア・市の広報誌

▶ 自助・公助・共助



児童が作った防災マニュアル&マップ



防災教育のこれから

防災を考えるコーナー



防災意識の高揚

▶ 水害について

- ・このフェスやフェス資料
- ・自然災害に備える・避難所シミュレーション

▶ 地震災害について

- ・H30フェス資料「防災教育を考える」
- ・児童向けスライド「防災について考えよう」



◎上記データは ※※※ 10安全・防災→☆防災教育

(↑ 沢中小のフォルダです。あしからず。)

防災意識の高揚

- ▶ 防災意識を高めることが大切
- ▶ 日頃から防災に関する情報に関心をもつ
- ▶ 「自分の身は自分で守る」
- ▶ 知識（判断基準） ⇒ 行動

研修内容はここまで
です

(5) 自然災害に伴う募金活動と送金

- ▶ 熊本地震への支援のための募金活動（H28.5月）
＜集まった募金は、職員分と合わせて教育委員会を通じて、太田市と縁のある熊本県宇城市に義捐金として送金。＞
- ▶ 北海道地震への支援のための募金活動（H30.9月）
＜児童会本部役員の2人が、全校を代表してゆうちょ銀行に募金を届け、北海道へ送られる。＞

(5) 自然災害に伴う募金活動と送金

▶ 九州北部豪雨災害及び千葉県台風被害義援金 (R1.9月)

＜児童会本部役員が、全校を代表して金融機関に募金を届け、北海道へ送られる。＞

▶ 台風19号による被害義援金 (R1.10月)

▶ <児童会本部役員が、全校を代表して金融機関に募金を届ける>



沢中小のブログでも紹介。



おわりに

- ▶ ・過去の震災から、今後の防災教育を考える
 - ▶ ・青少年赤十字が取り組んできた防災は、自分が助かったことを前提とした救急法や炊き出しなどが中心であり、「人を助けるためには、まず自分が生きなければならないこと」を学ぶ必要がありました。
 - ▶ ・「未来の被災者」を救い、自然災害によって悲しい思いをする人が1人でも少なくなることを望みます。
-
- ▶ **そこで青少年赤十字防災教育プログラム**
 - ▶ **「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用し防災への意識を高めてみませんか？**



今回、紹介はできませんでしたが、他にも防災ボードゲーム「いえまですごろく」、「防災かるた」などがあります。こちらもいかがでしょうか？

ご清聴ありがとうございました